Course number	Course number U-LAS15 20006 LJ58								
Course title (and course title in English)					Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Engineering Professor,HAYASHI TAMETO Graduate School of Engineering Professor,KOIKE KATSUAKI Graduate School of Engineering Professor,FUKUYAMA EIICHI		
Group Natural S	Group Natural Sciences Field(cation)	Eartl	arth Science(Development)		
Language of instruction				Old group Group B			Number of credits 2		2
Number of weekly time blocks	Class style	- I	cture 'ace-to-fa	ace cou			ar/semesters	2024 • Second semester	
perious	Mon.3 Target		: year Mainly 2nd year students			Eligible students		For science students	

[Overview and purpose of the course]

テーマ:地球工学と地球環境を学ぶための地球科学の基礎知識

目 的:地球資源、土木、環境など地質工学に関連した地球科学の基礎知識の習得を目的とする。 地球という対象に興味を持つ学生に対して、地球科学に関する知識およびその基礎となる考え方と、 主に土木・資源・エネルギー・環境工学の分野への応用例をあげながら、地球科学の概要について 平易に解説する。

[Course objectives]

地球の歴史と構造、地殻の変動とプレートテクトニクス、地殻の物質である鉱物、岩石と水について、履修者がその全体像を把握するとともに、地質学の基礎および工学的応用例を理解することを目指す。

[Course schedule and contents)]

下記のテーマについて、原則各週1回の授業を行なう予定です。

- 1. 地球科学概論(地球の歴史)林
- 2. 地球内部構造I(地震波伝播と地球内部構造)林
- 3. 地球内部構造II(核・マントルと地球磁場)福山
- 4. プレートテクトニクスI(大陸移動説とプレートテクトニクス)福山
- 5. プレートテクトニクスII(プレートの収束境界と造山運動)福山
- 6. 地球物質科学I(造岩鉱物の種類と結晶構造・有用鉱物)小池
- 7. 地球物質科学II(堆積岩・火成岩・変成岩の種類と成因)小池
- 8. 地球科学と水I(流水と堆積作用・表層地質と斜面)小池
- 9. 地球科学と水II(地下水と地熱エネルギー)小池
- 10. 地質学I(日本列島と世界の地質・構造・資源)小池
- |11.地質学II(地質調査の基礎)林
- |12. 地球科学の工学的応用I(地質災害と社会安全)小池
- |13. 地球科学の工学的応用II(地球環境と地質)林
- |14. 地球科学の工学的応用III(石油など天然エネルギー資源,資源の将来)林
- |15. 定期試験/理解度の確認
- |16. フィードバック授業

Continue to 地質工学入門(2)

地質工学入門(2)

[Course requirements]

高校での地学科目の履修は問わない。なお、1回生時に物理・数学の基礎を履修していることが望ましい。

[Evaluation methods and policy]

定期試験(2/3程度)と、普段のレポート・出席状況・小テスト(1/3程度)を基に成績評価する予定である。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業後に,市販や図書館の書籍ならびにインターネットで調べうる簡単なテーマを与えることがある。与えられたテーマに従い,調査と学習に努めてほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

担当教員は桂キャンパスにいるので、理解できない点は積極的に授業中に質問するとともに、電子 メールによる質問も受け付ける。